

磯焼け対策実証試験の成果は

良好な繁茂が確認されている

議員

地元企業が実施してきた磯焼け対策事業についての評価については。

市長

地元企業が実施する磯焼け対策事業について、釜石市は「海の森づくりプロジェクト」として評価している。本事業は、製鉄過程で生じる鉄鋼スラグに含まれる鉄分を海へ供給し、藻場再生を図る取組であり、地球温暖化対策や資源の有効活用といった企業の社会的責任にも合致するものとして提案された。市は、磯焼けの進行や漁獲量減少という地域課題に対応する施策として妥当と判断

空き漁場対策

議員

空き漁場の位置づけや有効利用については。

産業振興部長

養殖漁業就業者の年齢構成や近年の海洋環境の影響などから、今後の空き漁場の増加や生産量の低下が推測されるものと考えている。持続的かつ安定的な漁業経営を行っていくためには、個人による養殖生産と併せて、企業や団体などによる組織的な養殖業への参入により生産量を維持し、計画的に取組を拡大していく方法があるも

のと考えている。近隣地域では、漁業会社、漁協、食品加工会社が連携協力し、ワカメ養殖事業に参入しているほか、漁協と水産会社との協議により、空き漁場で水産会社が、ワカメの養殖生産を始めるなどの動きがあるものと認識している。本市としても、漁業

者確保に関する活動や、新規就業者の支援体制の構築のほか、空き漁場の有効利用など、今後も漁協や関係事業者と連携しながら水産振興のための施策や体制の強化に取り組んでいく。



藻場再生に活用される鉄鋼スラグ資材

鉄鋼スラグ：鉄を作るときに出る副産物で、石のように固まったもの。廃棄物ではなく、道路や港の工事、肥料などに再利用される、環境に役立つ資源のこと。



遠藤 幸徳

(民政クラブ)



議員の動画はこちら

質問項目

・水産行政について